



証券コード:6267

平成23年10月15日

日興アイ・アール株式会社主催  
**個人投資家向けIR説明会**



包装システムの市場創造型トータルプランナー  
**ゼネラルパッカー株式会社**



**General Packer**  
The total planner of a packaging system

---

# 目次

I. 会社概要

II. 業界の状況と当社の特徴

III. 中期経営計画ならびに  
業績動向

---

# I. 会社概要

# 会社概要(2011年7月31日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 8,994千株
- 売買単位 1,000株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機の製造・販売  
(食品・化学品・健康食品・医療用品等の包装用機械・システム)
- 従業員数 119名(その他臨時雇用者21名)
- 事業所 本社・工場(愛知県)、東京営業部

# 沿革

- 1961年 東陽商事(有)を設立
- 1962年 (株)ゼネラルパッカーを設立
- 1966年 東陽商事(有)をゼネラルパッカー販売(株)へ改称
- 1969年 ゼネラルパッカー販売(株)が(株)ゼネラルパッカーを  
吸収合併し、商号をゼネラルパッカー(株)と改称
- 1977年 本社工場を新設
- 1989年 本社工場に隣接して社屋(北館)を新設
- 2003年 **ジャスダック市場に上場**
- 2004年 本社工場南隣に社屋(南館)を新設
- 2006年 **平成17年度愛知ブランド企業に認定**
- 2007年 本社工場に隣接して工場(東館)を新設



Aichi  
Quality

認定番号214

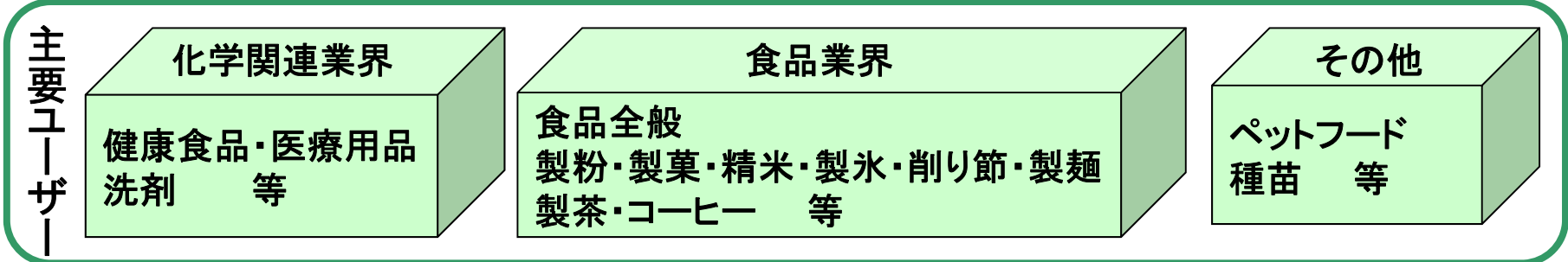
# 事業内容-1

当社

身近な商品の包装に、当社の機械が活躍しています。

包装機械・包装システム等を各ユーザーの工場等へ販売

高品質・高難易度の包装分野



病院

- 輸液バック
- カテーテル
- 粉末薬品

各店舗  
 スーパーマーケット  
 コンビニエンスストア  
 ドラッグストア  
 ホームセンター 等

消費者

\* 当社機械で包装されている主な袋詰商品例

- 小麦粉
- ふりかけ
- 花かつお
- パン粉
- ナッツ類
- ロックアイス
- 粉末茶
- お米



- スパゲティ
- ドリップコーヒー
- 肥料
- 野菜・花の種
- キャンディ
- 健康食品
- ペットフード
- 粉末洗剤

# 事業内容-2

袋詰用自動包装機の売上高が約6割

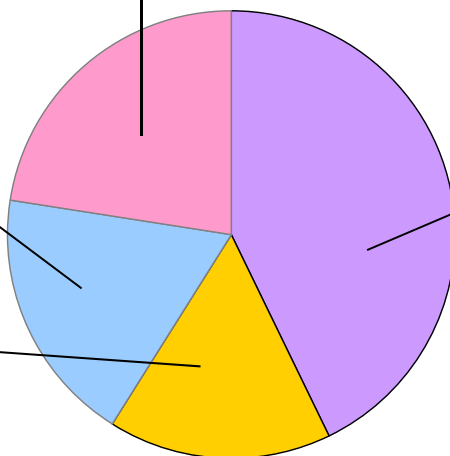


保守消耗部品その他  
955百万円  
24.3%

包装関連機器等  
530百万円  
13.5%

製袋自動包装機  
408百万円  
10.4%

給袋自動包装機  
2,042百万円  
51.8%  
(ガス充填自動包装機  
含む)



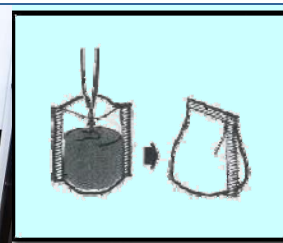
<2011/7期決算の状況>



高機能・高価格機種が主力

# 品目内容

対象物(粉末・顆粒・固形物等)  
を袋に充填して包装する機械



## 袋詰用包装機

### 給袋自動包装機

袋



給袋装置

充填・包装装置

菓子類、小麦粉、食品類、調味料、ペットフード、健康食品、医療用品、肥料、粉末薬品、電子部品等の袋詰用包装機。多品種少量生産向け。

### ガス充填自動包装機

袋



給袋装置

充填・包装・ガス充填装置

花かつお、ナッツ類等の袋詰用包装機。

### 製袋自動包装機

フィルム



製袋装置

充填・包装装置

充填物は給袋自動包装機と同様。小袋の高速包装から大袋包装まで。フィルムから袋を作りながら包装する機械。

### 包装関連機器等

付帯機器(充填機、計量機、計数機、印字機等)、段ボールケーサー、各種包装システム等

### 保守消耗部品その他

当社販売機械の保守、修理・交換用部品、印字機、検査装置等の取付・改造等



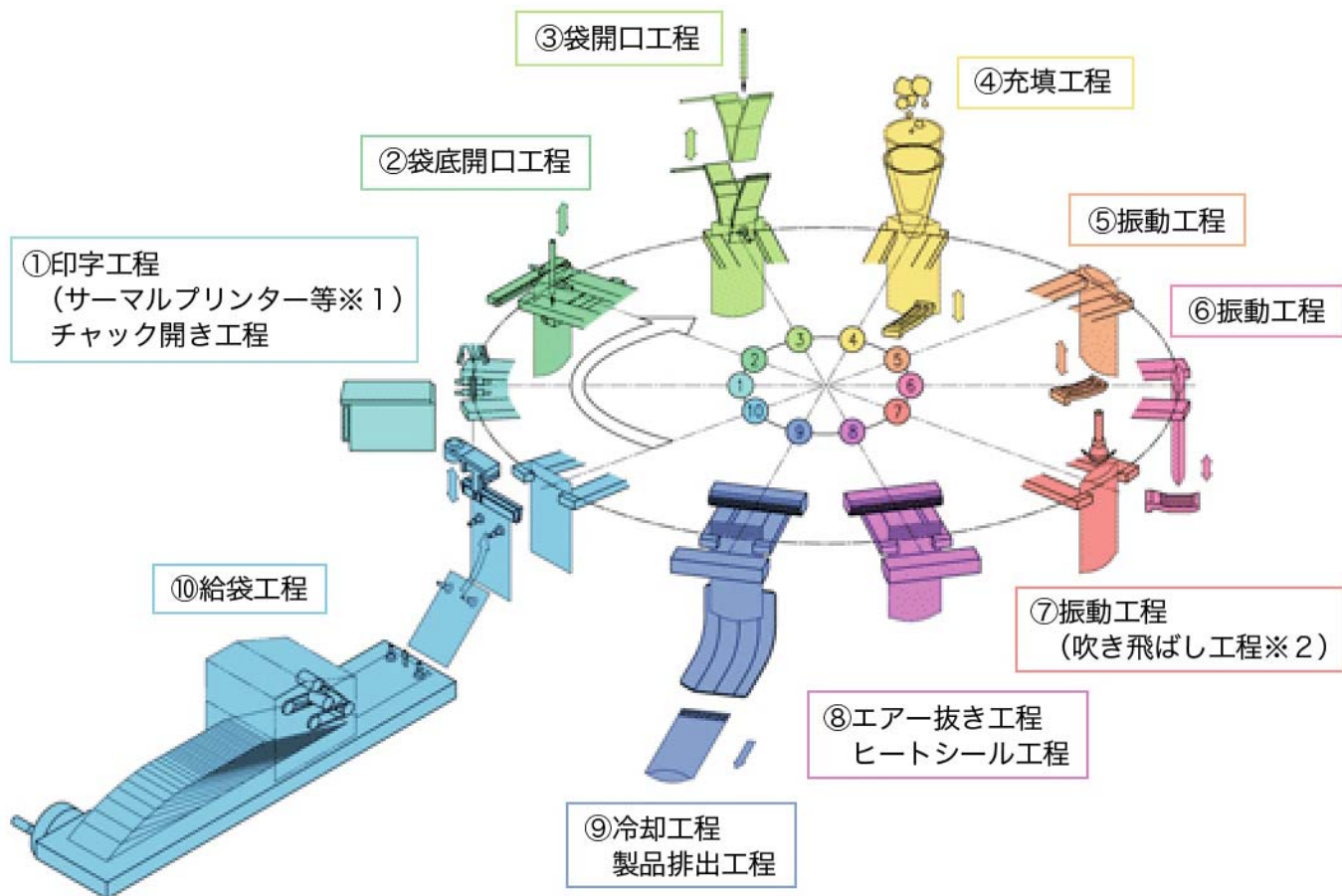
袋詰用包装機⇒ロータリー式包装機が主力

# ロータリー式包装技術

汎用性高い

省スペース

高難度の包装に対応



---

# Ⅱ. 業界の状況と 当社の特徴

# 包装機械業界

単位:億円

機種別	生産高
<b>個装・内装機械</b>	<b>3,091</b>
包装用計量機	192
充てん機	377
びん詰機械	460
製袋充てん機	573
真空包装機	92
その他	1,394
<b>外装・荷造機械</b>	<b>709</b>
ケース詰機	116
その他	592
<b>合計</b>	<b>3,801</b>

企業数 420社以上(専門メーカー 約240社)

中小企業が約9割

主な上場企業

専門メーカー:東京自動機械製作所

兼業メーカー:CKD、渋谷工業 等

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

当社:包装機械の専門メーカー

■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化

・高品質・高難易度の包装分野

・チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)

・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力

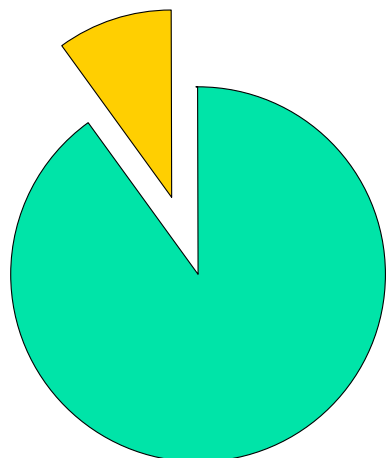
・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

(社)日本包装機械工業会

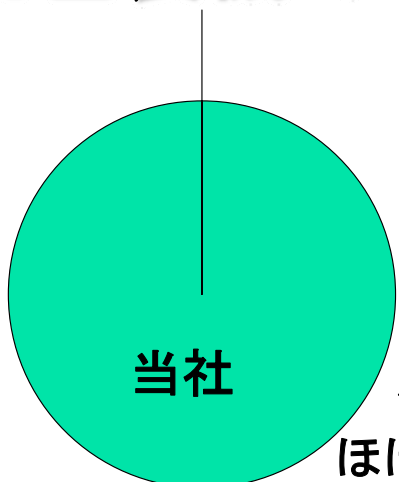
「包装機械及び荷造機械生産高統計」  
平成22年度実績

# 多くの分野の袋詰用包装機でNo.1シェアを獲得

出所: 当社推定

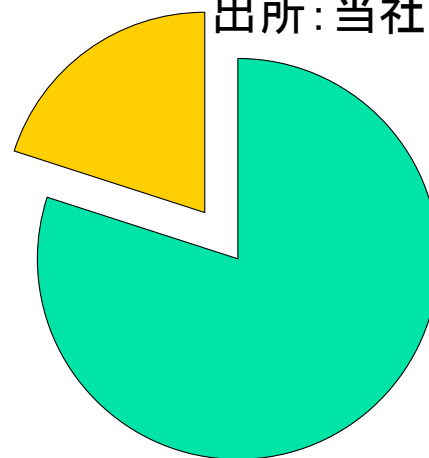


製粉

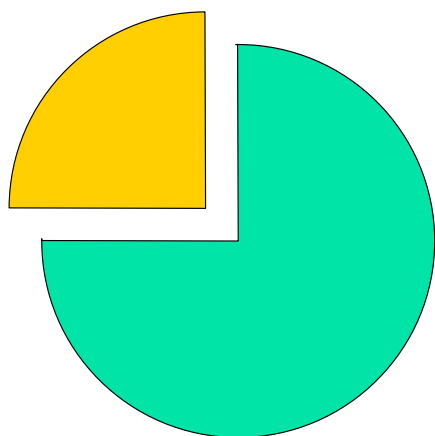


かつおミニパック

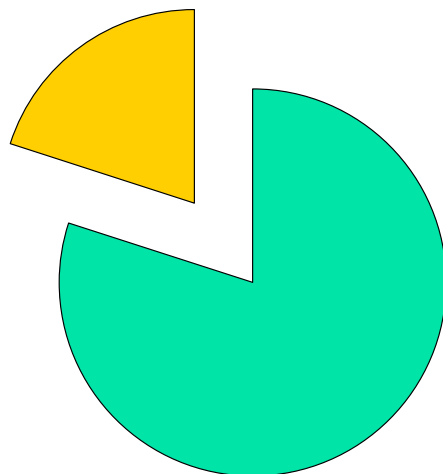
シェア  
ほぼ100%



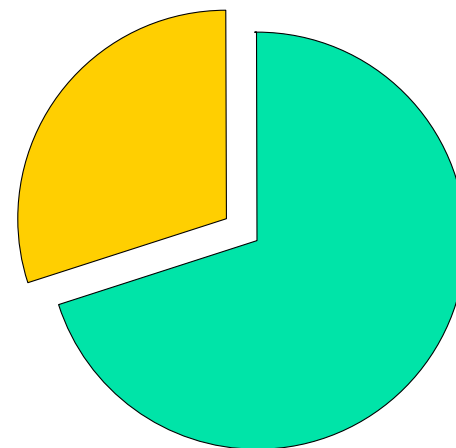
ロックアイス



ドリップ式コーヒー



精米



健康食品小袋

# 特徴－技術力

## ① 国内最高の高ガス置換技術を有する

■ 削り節用包装機、ナッツ類用包装機でトップシェア

風味の保持←不活性ガスを封入、酸素が無い状態へ

当社：高ガス置換型

⇒残存酸素濃度 0.5%以下

他社：簡易ガス置換型

⇒残存酸素濃度 2%以上



ガス充填システム  
搭載機種 of 拡大

他分野への展開

ペットフード用ガス充填包装機  
海外高級ペットフードメーカーの  
世界各地の工場へ納入  
(10カ国、28台)



# 特徴－技術力

## ②チャック付袋対応機種の豊富なラインナップ

### ■チャック付スタンドパウチ

対応機種(STタイプ)

#### ■給袋自動包装機

10機種

#### ■製袋自動包装機

4機種

キャンディ、グミ、健康食品、小麦粉、お茶、ペットフード等の包装

### ■チャック付製袋自動包装機

2機種

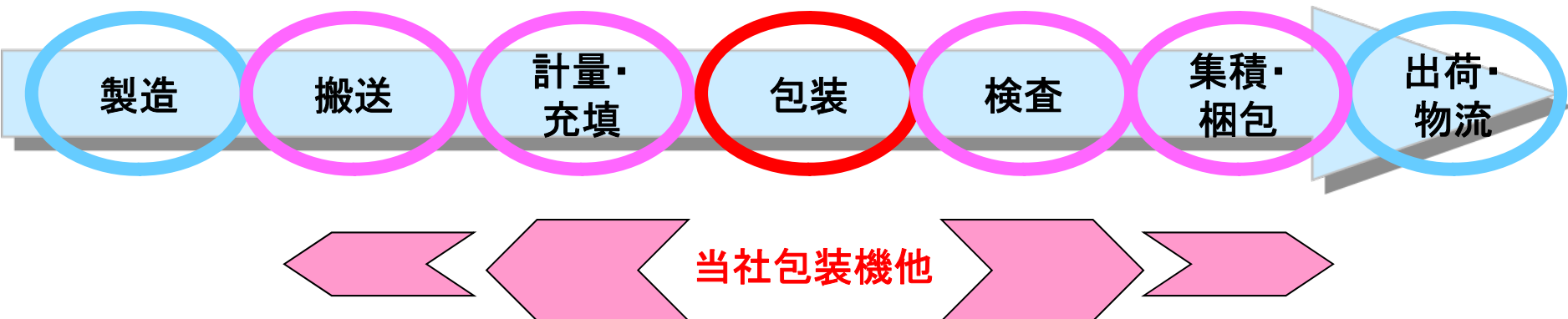
チャック付スタンドパウチ  
商品例





# 特徴－技術力

## ③包装システムのトータルプランニング



- 当社包装機をベースとしたトータルシステムの対応が可能
- 実績例：輸液バッグ包装システム  
ドリップ式コーヒー包装システム 等

# 特徴－技術力

## ④医薬品・医療機器の包装

### ■輸液バッグ包装システム

- ・ガス充填包装
- ・バッグの受取・搬送・挿入・包装

### ■医薬品包装例

- ・プラスチックアンプル
- ・錠剤(素錠・PTP包装品)
- ・粉体薬品 等

### ■医療機器包装例

- ・シリンジ
- ・輸液チューブ
- ・医療用針 等



輸液ソフトバッグ



素錠



プラスチックアンプル



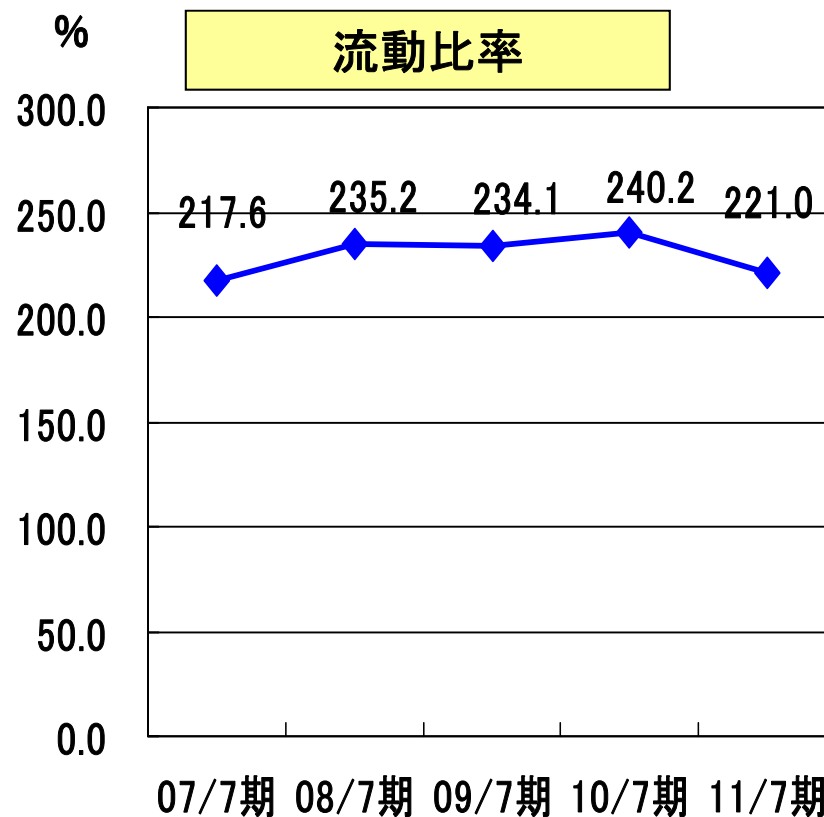
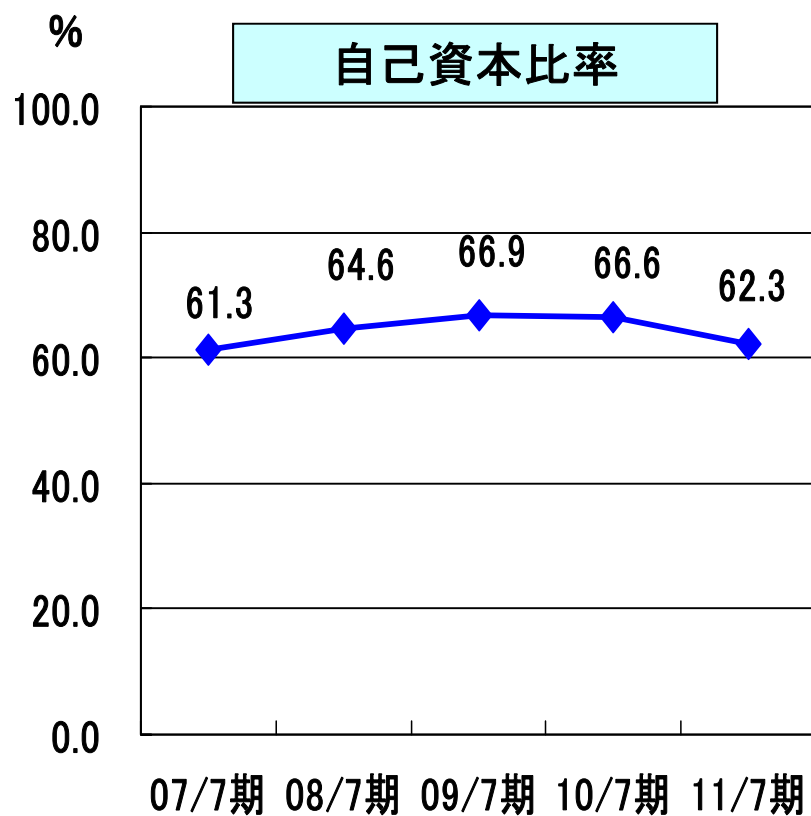
シリンジ



# 特徴－財務

## ⑤高い財務の安全性

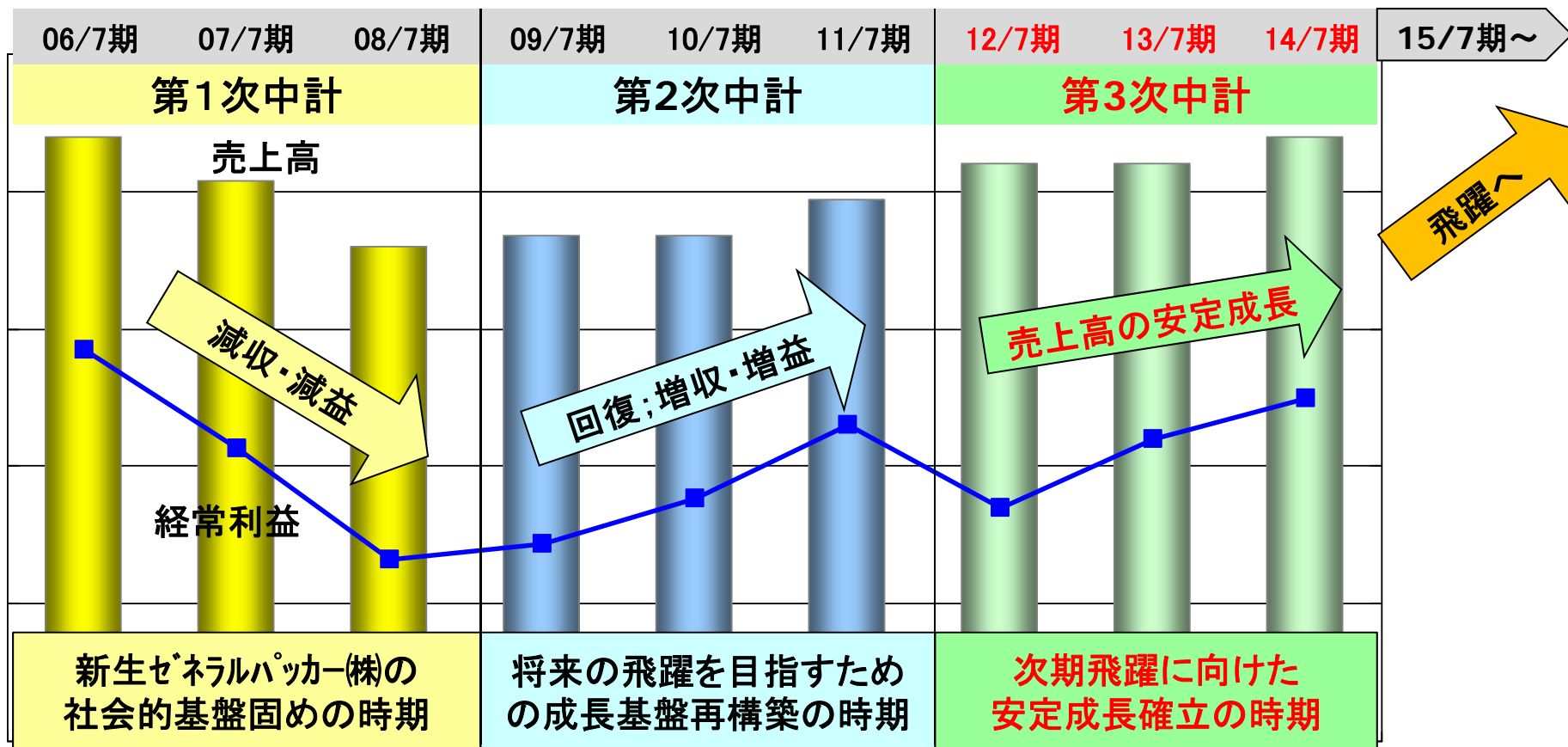
無借金経営



---

# Ⅲ. 中期経営計画ならびに 業績動向

# 第3次中期経営計画の位置づけ



事業環境変化に対応  
出来ず

業績目標は達成できず  
利益率は向上(経費削減  
と予算執行の抑制)

将来を見据えた積極的な  
戦略的投資と予算支出を  
推進

# 企業ビジョン

- 「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現



# 中期経営ビジョン

1. 世界に信頼される包装機メーカー
2. 「なんとかしたい」にトップスピードで応えるトータルプランナー
3. 『創造と挑戦』のモノづくり企業

## 中期数値目標

将来を見据えた戦略的予算を増加させることから、  
利益率と利益額は同等レベルの目標とする。

第2次中計最終期

第3次中計最終期

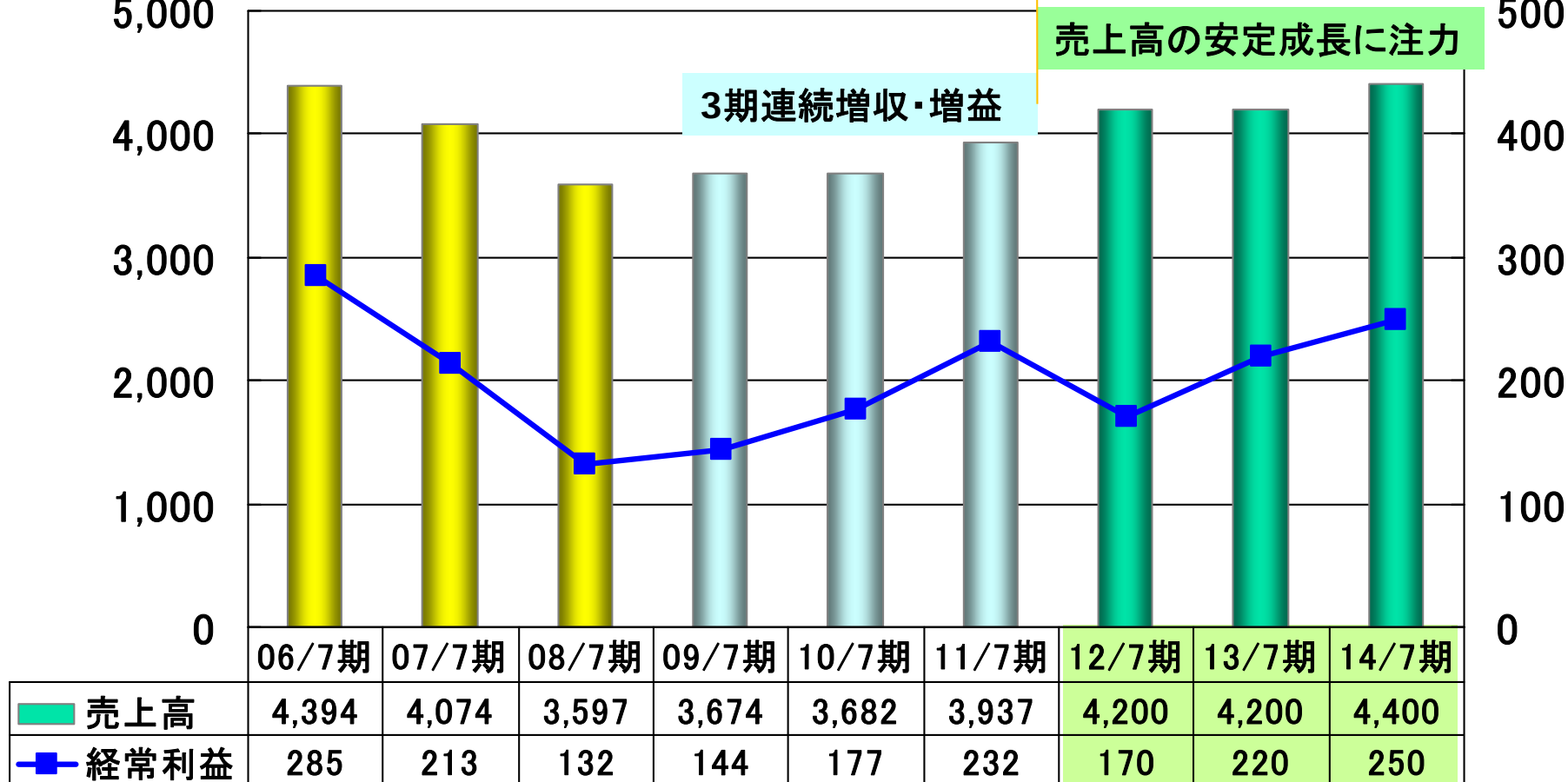
■ 経営目標	11/7期実績	➡	14/7期目標
売上高経常利益率	5.9%		5.5%以上
ROA(総資産経常利益率)	5.3%		5.5%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	4.9%		5.0%以上
■ 業績目標	11/7期実績	➡	11/7期目標
売上高	3,937百万円		4,400百万円
営業利益	225百万円		245百万円
経常利益	232百万円		250百万円
当期純利益	138百万円		150百万円

# 業績計画

第2期以降の数値については、事業環境と業績動向を踏まえて、ローリングする場合あり

売上高 (百万円)

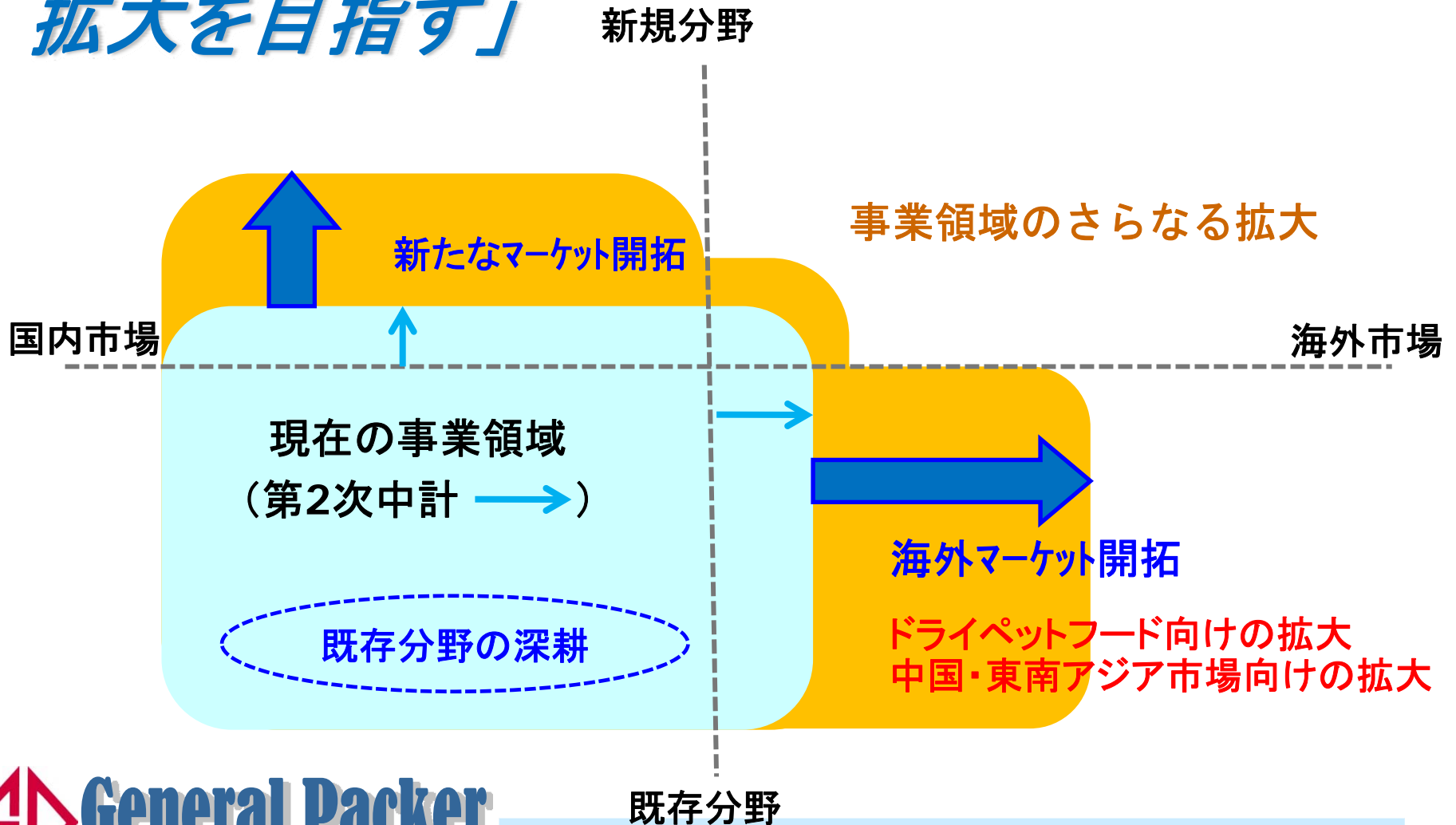
計画 経常利益  
売上高の安定成長に注力



← 第3次中計 →

# 基本戦略

「持続的成長に向けて事業領域のさらなる拡大を目指す」



# 事業計画モデル(第3次中計)

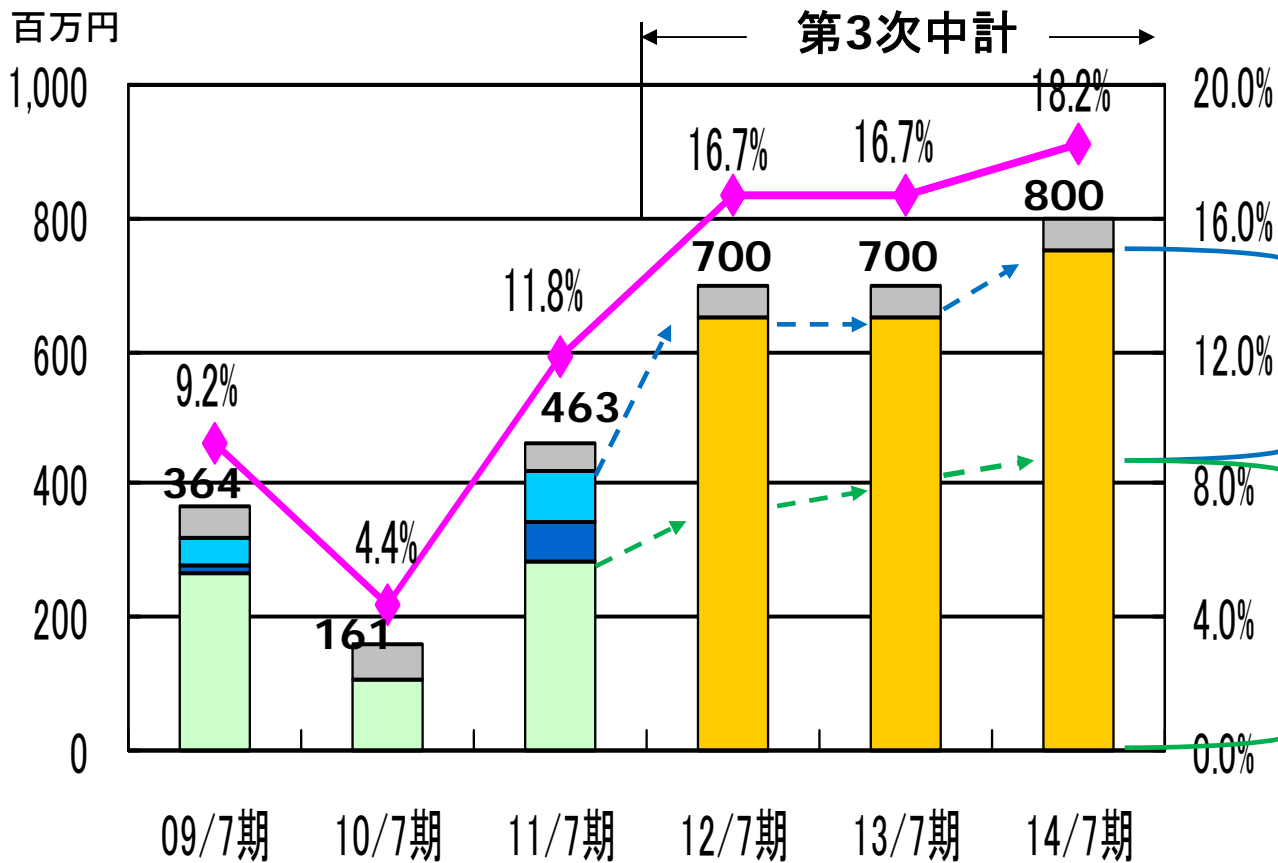
売上高(単位:百万円)	11/7期実績	12/7期計画	13/7期計画	14/7期計画
国内市場 (保守消耗部品含む)	3,474	3,500	3,500	3,600
内トータルシステム	534	700	750	800
海外市場 (海外部品含む)	463	700	700	800
	3,937	4,200	4,200	4,400



## 基本戦略

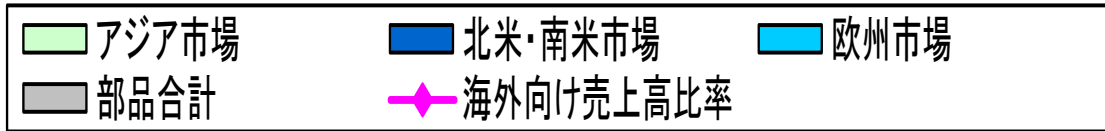
- ①顧客ニーズの積極的吸収と独創的な商品開発を推進し、ドライ分野のロータリー式自動包装機国内シェアNo.1を維持する
- ②安定的に海外市場向けの売上高比率15%以上の体制を目指す
- ③包装システムのトータルプランナーとしての提案力強化を図る
- ④事業領域拡大のための商品開発を強化する
- ⑤顧客が安心して生産活動できる包装機とサービスを提供する
- ⑥事業・技術提携も視野に入れながら、事業領域の拡大を推進する

# 海外市場向けの売上高



<北米・南米、欧州市場>  
 ドライパットフード向けの拡大  
 ・更新需要  
 ・新機種開発、新規顧客開拓

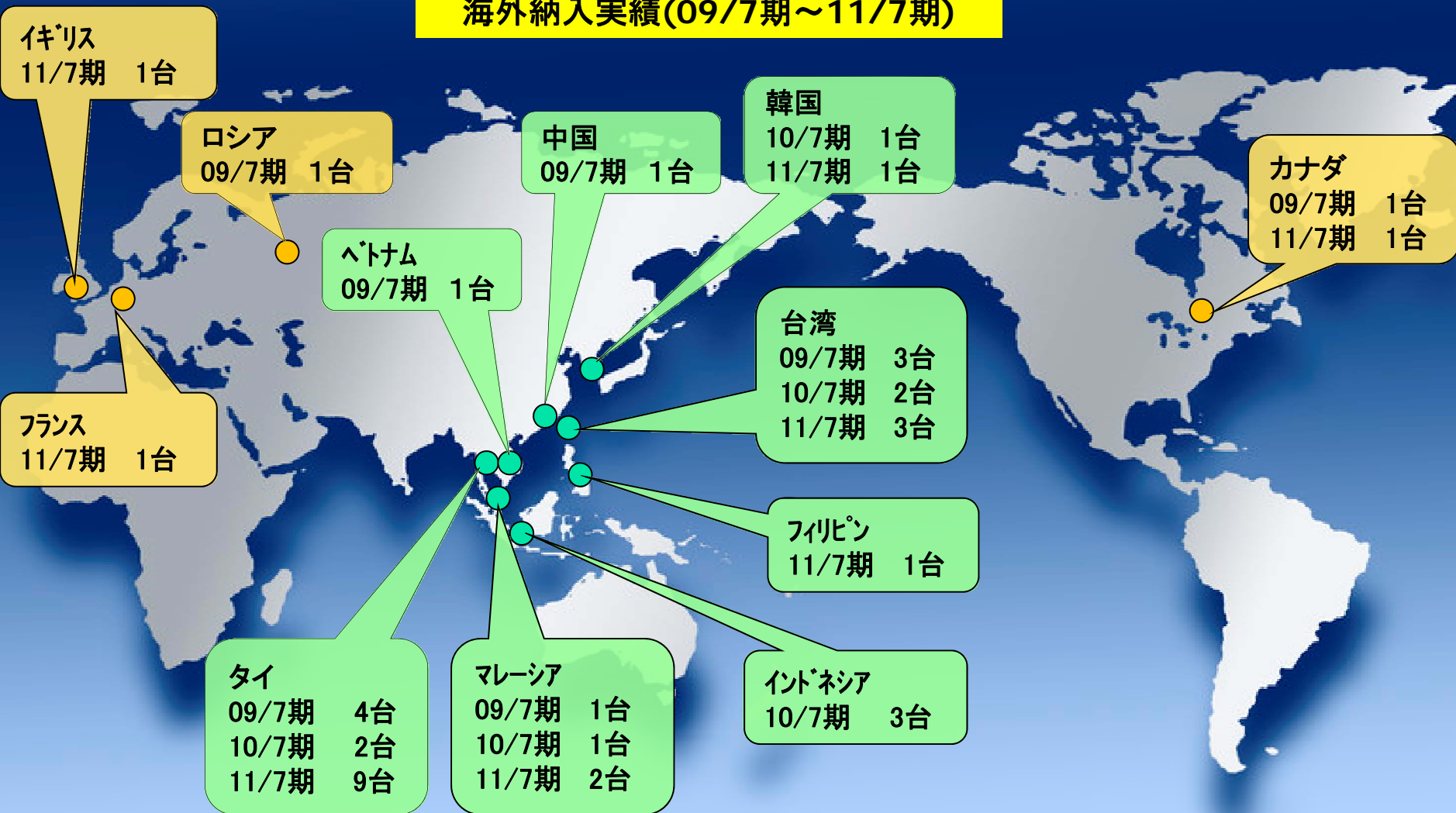
<アジア市場>  
 中国・東南アジア市場  
 向けの拡大  
 ・新規窓口開拓  
 ・日系企業への重点営業



※機械売上高;エンユーザー市場別

# 海外マーケット開拓(第2次中計)

## 海外納入実績(09/7期~11/7期)



# 開発・技術戦略

## ■ 開発部・技術部の体制強化

単位:人、百万円

中計	第1次	第2次	第3次
	08/7期	11/7期	12/7期～14/7期
開発部人員	9	13	増員を計画 →
技術部人員	17	19	
研究開発費	83	137	研究開発投資を増加 →

## ■ 開発実績(第2次中計)

売上実績台数

	機種数	09/7期	10/7期	11/7期
09/7期開発機	2	3	2	3
10/7期開発機	2	—	1	6
11/7期開発機	2	—	—	2

・拡販を強化  
・新たなマーケット開拓 →

第3次中計 每期 3機種以上へ  
シーズとニーズの両面からの開発を推進

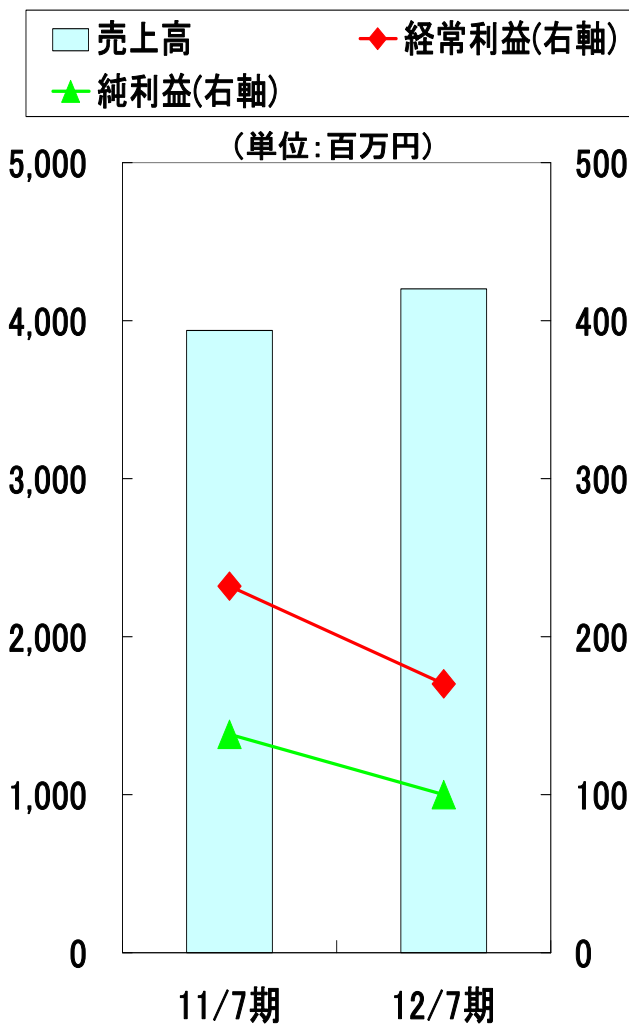
11/7期開発機  
・ペットフード用新機種  
・中価格機

# 2012年7月期業績予想

積極的な広告宣伝・販売促進活動と予算支出の計画により、増収・減益の見通し

(単位:百万円、%)

	11/7期	12/7期	前期比	
	金額 (構成比)	金額 (構成比)	金額	率
売上高	3,937 (100.0)	4,200 (100.0)	+262	+6.7
売上総利益	1,042 (26.5)	1,152 (27.4)	+109	+10.5
営業利益	225 (5.7)	168 (4.0)	▲56	▲25.2
経常利益	232 (5.9)	170 (4.0)	▲62	▲26.9
当期純利益	138 (3.5)	100 (2.4)	▲38	▲27.9



# 株主還元

株主数;942名(2011/7月末現在)

## 中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、配当性向50%または純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2009/7期	2010/7期	2011/7期	2012/7期予想
中間配当	3.50円	3.50円	3.50円	3.50円
期末配当	3.50円	3.50円	4.50円 (記念配当1円)	3.50円
年間配当	7円	7円	8円	7円
当期純利益/株	9.19円	11.84円	15.83円	11.41円
配当性向	76.2%	59.0%	50.5%	61.3%
DOE	2.2%	2.2%	2.4%	2.1%

## 自己株式取得

- 2010年3月 取得株数 224,000株 取得金額 41百万円

# 包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

## 当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室 長谷川  
〒481-8601  
愛知県北名古屋市長福寺神明65  
電話:0568-23-3111  
FAX:0568-22-3222  
E-mail:info@general-packer.co.jp

